安 管 み や ぎ

第７号

令和８年

(一社)宮城県安全運転管理者協会・宮城県安全運転管理者事業主会連合会

梅 雨 時 の 注 意 点

宮城県でも、もうすぐ梅雨入り宣言が発表(東北南部として発表)される時期です。平年(過去30年の平均)では「６月12日ころ」とされています。

昨年は６月23日の入梅で、時期降雨量は平年の約３分の１の空梅雨(からつゆ)でした……

雨天時の運転は、路面状況や視界が悪くなるなど、交通事故リスクが高くなります。次の点に留意して、交通事故防止に努めましょう。

１　運転環境が悪くなります。

○　路面が滑りやすくなります。

濡れた路面は、乾燥路面より滑りやすく制動距離が約２倍になります。速度をゆるめて、ゆとりある運転を心掛けましょう。

○　自転車や歩行者も視界が悪くなります。

歩行者は傘で視界が遮られ、自転車は水たまりを急によけたり、といつもと違った動きをすることがあります。周囲の音も聞きづらく危険察知も遅れがちです。安全な速度と十分な距離を取りましょう。

２　始業前点検をしましょう。

○　タイヤは大丈夫ですか？

止まるためには、タイヤの状態が大切です。適正な溝の深さと空気圧になっているか確認しましょう。

○　視界は大丈夫ですか？

ワイパーゴムが劣化すると割れるなどして、十分な拭き取りができず視界が悪くなります。割れたり変形していないか確認しましょう。ウオッシャー液の残量やガラスの油膜なども確認しましょう。

ゴム割れなどしているとワイパーの性能が発揮できず、よく見えなくなります。ワイパーが古くないか確認しましょう。

３　夜間の運転にも注意しましょう。

○　乱反射で見えにくくなります。

夜の雨降りは、対向車のライトが反射したり、街灯の明かりが届きにくくなったりと、見える範囲が狭くなります。見える範囲で止まれる速度で走りましょう。